



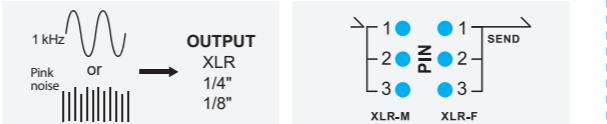
# AT-1

## PORTABLE AUDIO TESTER

日本語マニュアル

**SPECIFICATIONS**

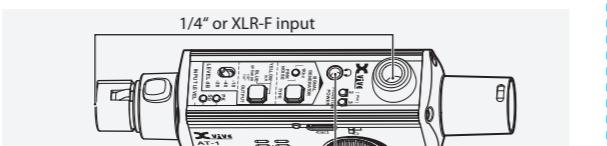
Xvive AT-1は、音声入出力がチェックできるコンパクトサイズのマルチスターで以下の主要機能を備えています。1kHzトーンとピンクノイズのジェネレーター、XLRケーブル通線チェック、XLR入力信号チェック、ファンタムパワーの電圧テストと動作確認、そしてヘッドフォンとスピーカーにスルーラーする入力信号のモニターです。AT-1はパワードPAスピーカー、エフェクトペダル、ケーブル、DIボックス、IEMシステム、ミキサー、その他オーディオデバイスをテストできる、音響プロフェッショナルの現場に欠かせないツールです。



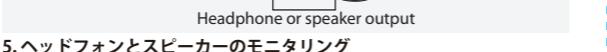
1. シグナルジェネレーター  
XLR（オス）、1/4"ジャック、1/8"ジャックから選択して1kHzサイン波またはピンクノイズを出力します。-10 dB/-20 dB/-40 dBから出力レベルを選択できます。



2. XLRケーブルテスター  
ピン単位でXLRケーブル通線テストができます。



3. XLR入力信号チェック  
XLR（メス）の入力信号レベルをチェックします。

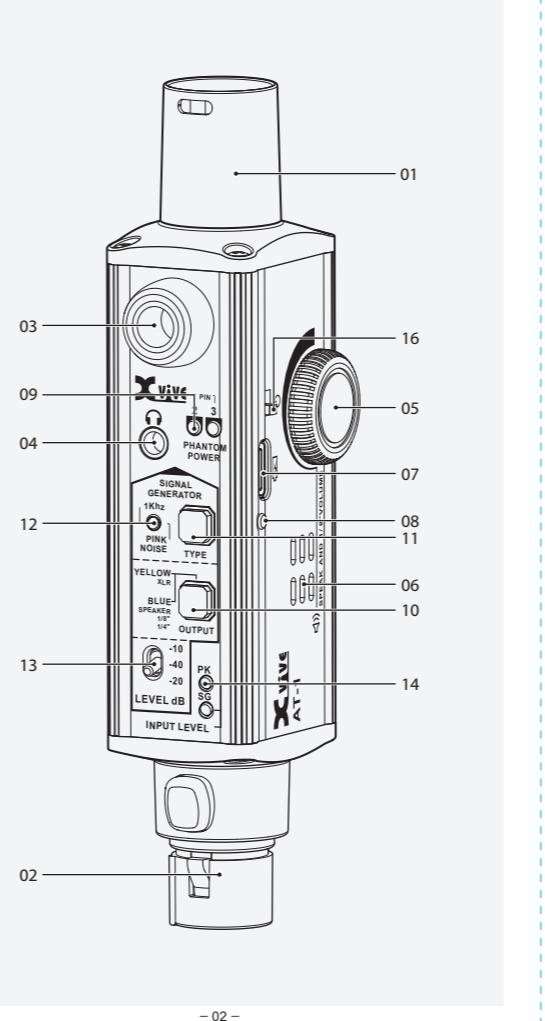


4. ファンタムパワーのチェック  
2-pinと3-pinのファンタムパワーをチェックします。



5. ヘッドフォンとスピーカーのモニタリング  
XLR（メス）または1/4"ジャックに接続したオーディオソースを、1/8"ジャックのヘッドフォンまたは内蔵スピーカーでモニターできます。

- 01 -



- 02 -



- 03 -

### シグナルジェネレーター 1kHzサイン波とピンクノイズ

サイン波とピンクノイズを出してDIボックス、エフェクトペダル、エイリアンシステム、アウトボード、アクティブスピーカー、ミキサー等あらゆる種類のオーディオデバイスの入力チェックができます。

#### OUTPUT

イエローLED : XLRから出力  
ブルーLED : 内蔵スピーカー、6.35 mm (1/4") TSまたは3.5 mm (1/8") TSから出力

#### TYPE

LED点灯：ピンクノイズ  
LED点滅：1kHzサイン波

#### OUTPUT LEVEL

-10, -20, -40 dB

-10 dB, -40 dB, -20 dB

LEVEL dB

1. OUTPUTモードを選択  
2. TYPEモードを選択  
3. Adjust the OUTPUT volume level

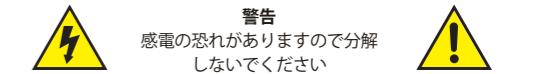
### ファンタムパワーとXLR端子ピンのチェック

XLR（オス）の2-pinと3-pinファンタムパワーの電圧をチェックします。電圧が24~44Vの場合にはLEDがゆっくり点滅します。

入力チャンネルのファンタムを入れると、XLR端子の3ピンすべてを同時にチェックできます。

ファンタムパワーチェック	ファンタムパワーチェック
LED点灯：電圧確認 ファンタムパワーパワー電圧: 44-52V	pin 1 不良
LED点滅：電圧確認 ファンタムパワーパワー電圧: 24-44V	pin 2 不良
	pin 3 不良

- 04 -



**注意:**  
火災や感電の危険を避けるため、ネジを外さないでください。  
内部にはユーザーによる調整を必要とする部品はありません。  
修理は資格を持ったサービススタッフにご依頼ください。

**注意:**  
火災や感電の危険を避けるため、本機を雨や湿気にさらさないでください。

### リチウムイオン充電池の安全上の注意

誤った使い方をすると、充電式電池が漏れることができます。  
また最悪の場合には、爆発、火災、発熱、煙やガス発生の危険性があります。Xviveは、乱用や誤用によって生じた損害について、一切の責任を負いません。

- 子供の手に届かないところで保管してください。
- 充電式電池の充電には、Xviveが推奨する充電器を使用してください。
- 正しい極性を守ってください。
- 充電した充電池は、端子同士が接触しないように梱包・保管してください。
- 湿気にならないでください。
- 充電式電池を使用した製品は、使用後にスイッチを切ってください。
- 充電式電池は、周囲の温度が10° C/50° Fから40° C/104° Fの間でのみ充電してください。
- 充電式電池を長期間使用しない場合は、定期的に充電してください（約3ヶ月に1回）。
- 傷つけたり分解したりしないでください。
- 60° C/140° F以上に加熱しないでください。例えは直射日光に当たる、火の中に投げ込まないでください。
- 明らかに欠陥のある製品からは、ただちに充電式電池を取り外してください。
- 欠陥のある充電式電池を使用し続けないでください。
- Xviveが指定した充電式電池のみを使用してください。
- 充電式電池は、専用の回収場所で廃棄するか、専門の販売店に返却してください。
- 製品は、涼しく乾燥した室温（約20°C）の場所に保管してください。
- 長期間使用しない場合は、充電式電池を取り外してください。

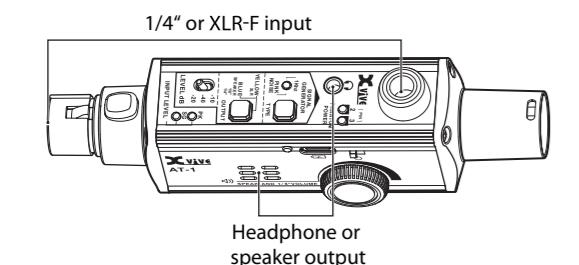
- 09 -

### スピーカー/ヘッドフォン出力

OUTPUTからYELLOWを選択すると、オーディオ入力は1/4" TS ジャックとXLR（メス）、出力は内蔵スピーカーまたは1/8"ヘッドフォンジャックにルーティングされます。

ボリュームノブを使用して内蔵スピーカーまたは1/8"ヘッドフォンのレベルを調整できます。より正確にシグナルをモニターしたい場合には、ヘッドフォンを使用してください。

どちらのOUTPUTモードを選択していても、1/4"ジャックへシグナル入力した場合には、内蔵スピーカーとヘッドフォンアウト両方へシグナルが出力されます。



### XLR入力信号チェック

XLR（メス）に接続したシグナルのRMS出力によってPK（ピーク）とSG（シグナル）LEDが点灯します。シグナルが-20dBuを超えるとSG LEDが点灯、+10dBuを超えるとPK LEDが点灯します。

シグナルを検出するとSGが点灯、シグナルが大きすぎるときPKが点灯するため騒音時、またはスピーカーに耳を近づけられない時に大いに役立ちます。

- 05 -

### XLRケーブルテスター

XLRケーブル（オス-メス）を接続して、3-pinの通線チェックができます。TYPEを2秒ホールドするとXLRケーブルテスターモードに入ります。各ピンに対応するLEDが順番に点滅します。

TYPEを押すとミュートでピンを選択できます。OUTPUTを押すと再度LEDを順番に点滅します。



### バッテリー残量が少ない

TYPEボタン横のLEDはバッテリー残量が少ない（10%以下）際に白く点滅します。この警告を確認したら速やかにバッテリー充電を行ってください。

### バッテリーの充電

バッテリー充電時には本体のパワーをオフにしてください。充電には標準的なUSB-Cケーブルと5V/2A USBバワーサプライを使用ください。フル充電まで約1.5時間かかります。充電を行いながら本機を使用することができます。

充電中はバッテリー充電ステータスLEDが点灯し、完全に充電されると消灯します。

**注意**  
AT-1使用後は必ず電源をオフにしてください。バッテリー容量を使い切ると、電源を入れることができなくなる可能性があります。

- 06 -

### 製品仕様

本機は、テストの結果、FCC規則のパート15に準拠したクラスBデジタル機器の制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から保護するためのものです。

本機は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。特定の設置場所で干渉が起こらないという保証はありません。本機がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、本機の電源を切ったり入れたりすることで判断できますが、以下の方法で干渉を修正することをお勧めします。本機がラジオやテレビの受信に有害な影響を与える場合は、次のような対策をとることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。  
- 機器とレシーバーの距離を離す。  
- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。  
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。

- 機器とレシーバーの距離を離す。

- 本機を、レシーバーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。